



静岡県交通基盤部

～建設産業の仕事とは？～

静岡県交通基盤部 建設政策課



～いっしょに、未来の地域づくり。～



静岡県交通基盤部



静岡県職員約7,000人のうち

交通基盤部 約1,300人 [事務 約400人
技術 約900人]

[本庁]
6局26課
[出先]
8土木事務所
4特設事務所

- 政策管理局：政策、広報、予算、人事
- 建設経済局：発注、用地、技術指針
- 道路局：道路建設、道路管理
- 河川砂防局：河川、海岸、砂防
- 港湾局：港湾、漁港、ポートセールス
- 都市局：都市計画、公園、下水道、地域交通



静岡県 交通基盤部の機関 位置図

凡 例
--- 県 界
---- 市 町 界
—— 土木事務所所管界
● 土木事務所
○ 特設事務所
○○ 支所・支局・分庁舎等



交通基盤部関係機関位置図 (土木事務所所管区域図)

令和7年4月1日現在



交通基盤部の役割



「インフラ」って？



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





お手伝いできることはありますか？

「インフラ」とはなにか教えてください。|

+ ま ツール

0





交通基盤部の役割



「インフラ」とは、「インフラストラクチャー (Infrastructure)」の略で、社会や経済活動を支える基盤となる仕組みや設備のことを指します。個人の日常生活や企業の経済活動、行政の運営など、あらゆる面で必要不可欠なものです。



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





交通基盤部の役割



インフラの具体例

インフラには以下のような種類があります：

1. 物理的インフラ（ハードインフラ）

- **交通インフラ**：道路、鉄道、空港、港など
- **通信インフラ**：インターネット、携帯電話基地局、光ファイバーなど
- **エネルギーインフラ**：電力網、発電所、ガス管、水道など
- **上下水道やごみ処理施設**：生活に必要な衛生環境を支える設備

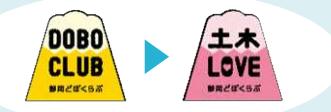
2. 制度的インフラ（ソフトインフラ）

- **法律・制度・ルール**：社会が秩序立って機能するための仕組み
- **教育・医療制度**：人材育成や健康を守るための基盤
- **金融システム**：銀行、証券取引所、保険など経済活動の基盤





交通基盤部の役割



想像してみてください

もし、

- 買い物に行きたいのに、道中の橋が壊れて通れなくなっていたら。。。。
- 大雨の時に、家の近くにある川に堤防がなかったら。。。。



- インフラは、県民の安全・安心の確保や社会経済活動の基盤となるものであり、県民の生活に必要不可欠なもの。

**NO INFRA,
NO LIFE !**

～まいにち、インフラ～

静岡県では

インフラの整備・維持管理
を通じて…

県民が豊かで
安全な暮らしが
実感できる県土

Happy!

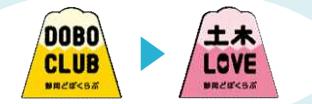


～いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





道路～人・車の流れをスムーズに～



渋滞の様子



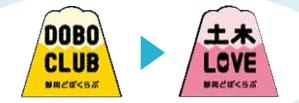
【完成予想図】



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部



道路～人・車の流れをスムーズに～



法面の崩落



工事完成後



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





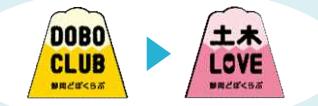
河川 ~洪水から命を守る~



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部



河川 ~洪水から命を守る~



護岸の整備



ダムの整備



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部

砂防(さぼう) ~土砂災害から命を守る~



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部

砂防(さぼう) ~土砂災害から命を守る~



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部



海岸～津波から命を守る～



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部



港の整備 ～人や物を呼び込む～

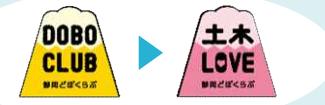


港の整備 ~人や物を呼び込む~



富士山が見える清水港は
海外の方にも大人気！

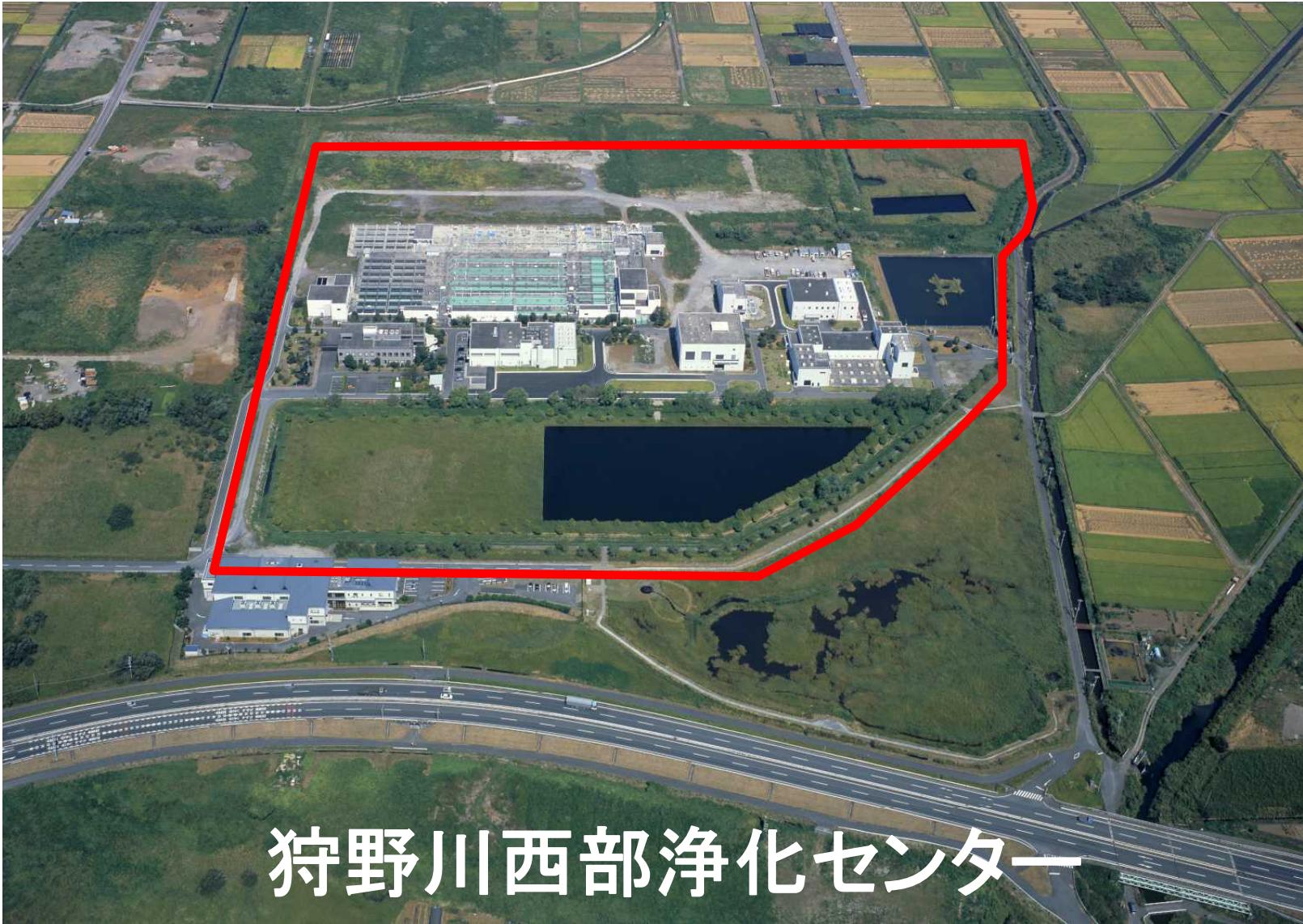
都市 ~公園・競技施設の整備~



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部



都市～生活排水の処理・水質保全～



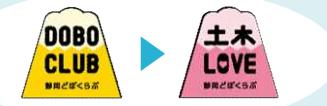
狩野川西部浄化センター

～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部





災害復旧 ~元のくらしを取り戻す~

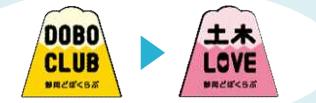


~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部





インフラ整備の役割分担



【行政】国・県・市町



設計

施工



【民間】コンサルタント

【民間】施工業者





インフラ整備の流れ



事業計画検討

測量や設計業務の
発注、監督

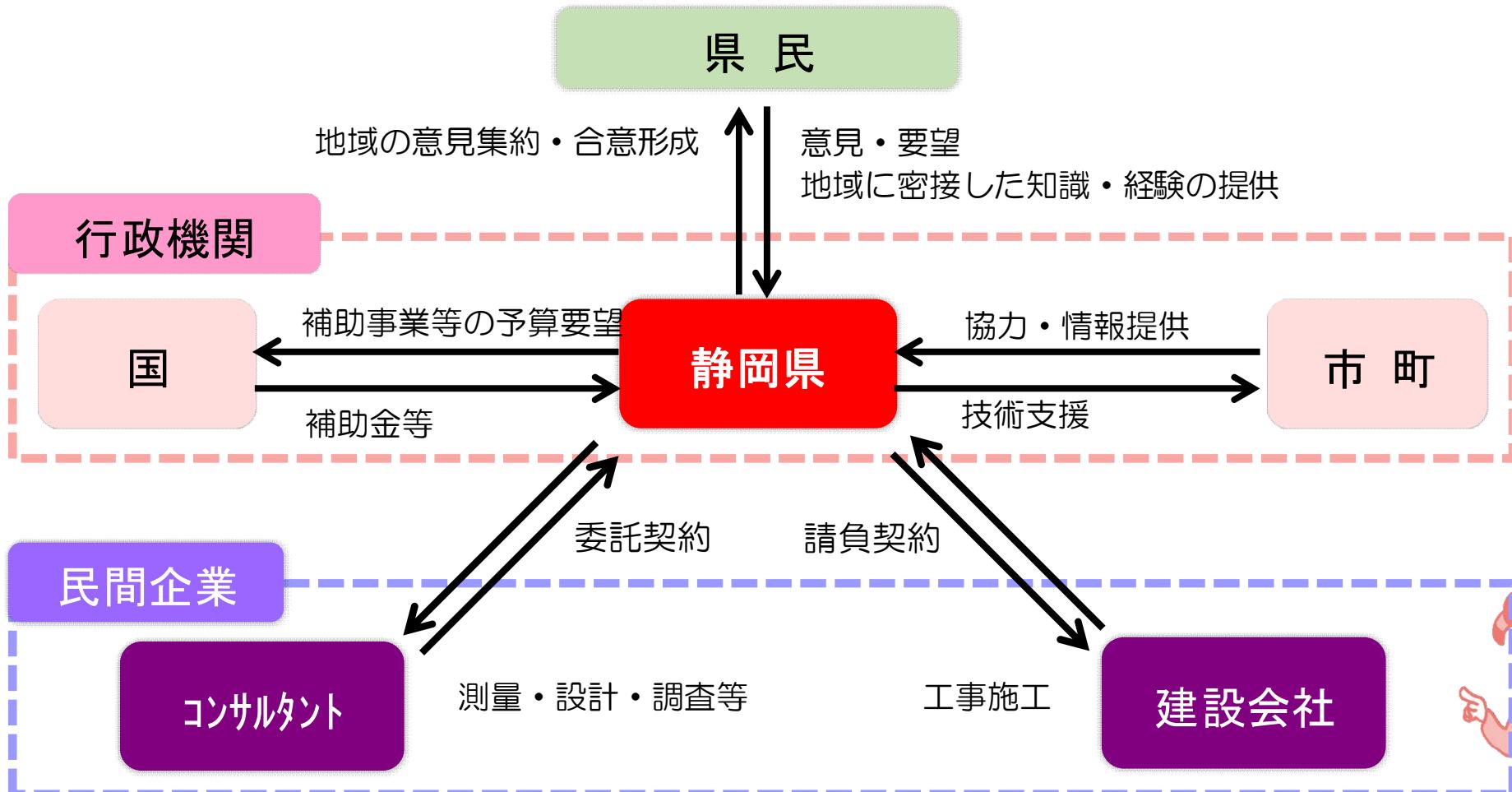
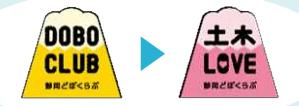
用地交渉
用地取得

工事発注
監督

工事完成



静岡県の立ち位置

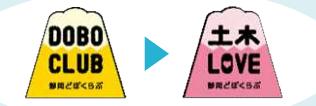


~ いっしょに、未来の地域づくり。~
(注)この図はイメージであり、実際にはまちづくりの場合はあります。





交通基盤部が直面する課題



1. 自然災害の激甚化・頻発化



2. インフラの老朽化の加速

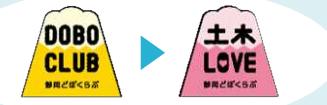


3. 人口減少・少子高齢化の進展





1.自然災害の激甚化・頻発化



令和6年7月 県道静岡焼津線 浜当目トンネル



～ いっしょに、未来の地域づくり。～
静岡県交通基盤部

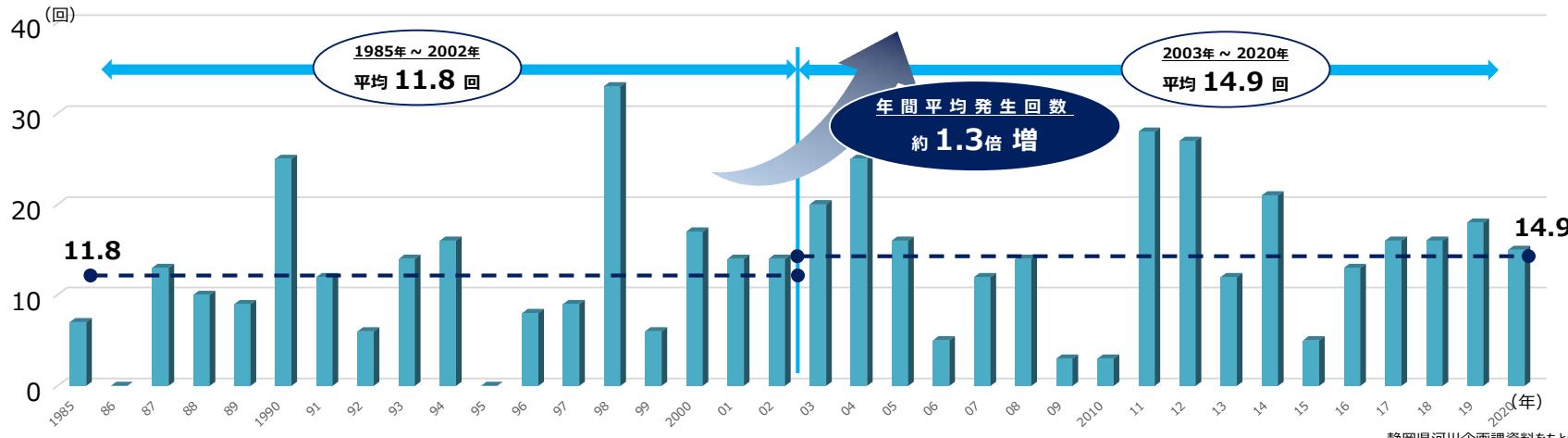




1.自然災害の激甚化・頻発化

静岡県内の短時間強雨※の年間発生回数

※ 1時間雨量50mm以上



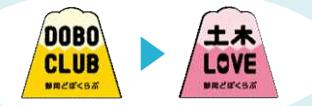
静岡県内の土砂災害の年間発生件数

地すべり かけ崩れ 合計





2.インフラの老朽化の加速



2012年12月 中央自動車道（上り）**笹子トンネル**
天井版が落下 死者9名、負傷者2名



事故当時、
完成から
38年経過





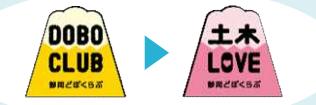
3. 人口減少・少子高齢化の進展



【つくる・まもることが できる人が少なくなる問題】



3. 人口減少・少子高齢化の進展



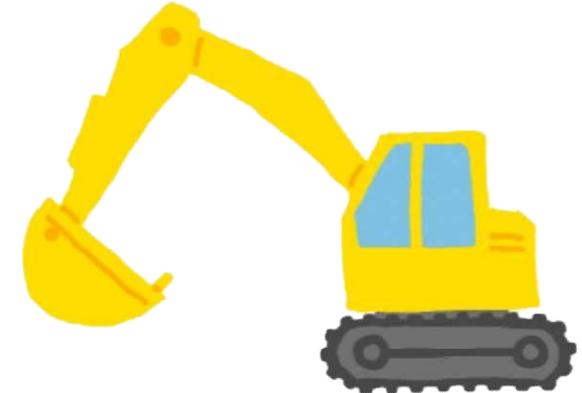
地震・災害発生



道路損傷



孤立・物資の不足



建設産業の職人による応急処置
(土砂撤去など)

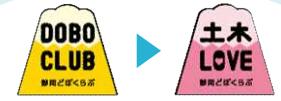


道路が通行可能に
警察・自衛隊などの救援活動につながる





3. 人口減少・少子高齢化の進展



■土石流が発生した場所の沿岸を西廻る佐野川＝アーバンリバー。これが河口付近で、河床が砂質で、河口付近で砂質地帯が広がる。



熱海土石流 土砂撤去や道路啓開

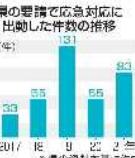
從玄蕃牛侍、十神の撤去や淫靡の皆臣などのぬる氣丸に当たる荒業説。昨年7月に横濱市伊豆山で生きた大黒猪の首では、地元業者も荒業説。牛御前が行方不明者の捜索をしやすいように「上砂」が切れを徹底するなど、傳説駆除にも全面的に協力。災害時の荒正丸に次がけかけない役割を果たした。一方、関係機関との連携や長時間に及ぶ活動など、大黒猪に玄蕃の行政との役割確定に大きく功績の評価も詰み上がった。

関係機関と連携 課題

基本は労災「公費対応を」

行政要請の活動中に事故でも…

出典:静岡新聞(2022年7月10日朝刊)



- 2021年7月
静岡県熱海市で発生した
土石流災害

- 地元の建設産業者が
搜索に貢献

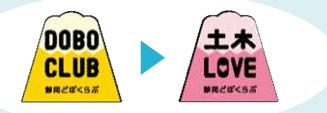


建設産業は 災害時に欠かせない 重要な仕事





まとめ



★建設産業は「社会インフラ」をつくる、
生活に欠かせない重要な仕事

★建設産業は様々な人と協力する、
チームワークが大切な仕事



～いっしょに、未来の地域づくり。～





ご清聴ありがとうございました



~ いっしょに、未来の地域づくり。~
静岡県交通基盤部

